

かやたかゆき の ほうれんそう

愛川町議会議員

第10号

議会の報告

後援会の連絡

皆さんからの相談



町の商店の活性化が町を明るくする！

町の商店会の悩みや社会的問題である後継者不足問題は、早急に解決する必要性があります。商店会の衰退や後継者不足での企業・商店の廃業などは、町の活性化が無くなる事を始め、雇用の減少、収支の減少と負のスパイラルに陥ります。この事をいち早く打破するためには、商店会の会長を経験したり、民間企業を経営している私が提案する事が必要だと考え、一般質問として提案をしました。

街路灯問題の解決へ！

・2020年問題の解決のために

愛川町にある商店会の街路灯は、50年前に神奈川県の補助金を利用し、各商店会が設置しました。現在の街路灯は商店会の内部的組織である街路灯部会が管理をしていますが、各商店会の会員の減少・解散により、電球が消えていたり、柱が曲がったりと、管理が行き届かない街路灯があります。そして、2020年の水銀汚染防止法により、今までの街路灯で使われてきた水銀灯は製造終了となりました。現在は水銀灯の在庫もなくなり、このままだと水銀灯が切れた所から街の明かりが消えててしまう状態となり、町から灯が消えて暗い町になってしまいます。現在は愛川町が街路灯の電気代を全額補助していたり、補修に関しても補助を出しています。今後はLED化を進めるために町が管理をして行くことが望ましいと提案しました。今後は、水銀灯からLED化にして電気代が節約出来た金額分をLEDのリース料金にあてたり、不要な街路灯を間引くなど、今後の管理を町主導で進めて行くよう

に要望しました。



後継者不足問題の解消へ！

・企業と創業希望者のマッチング

後継者問題は日本全体の問題でもあります。これは国會議員の仕事と見て見ぬふりをすることはできません。企業や商店の後継者不足には様々な理由があります。そもそも身内に後継者がいない。後継者がいても後を継がない。企業の未来が不透明。少子化で人材が先細り。など様々な問題があります。企業が負債を抱えた廃業は仕方のないものですが、元気や体力のある企業や商店が、後継者不在の問題で廃業に追いやられることは、企業として積み重ねてきた実績や歴史などを失うことになってしまいますし、町としても雇用が減ったり、収支が減ったりと、町の活性化が無くなってしまいます。

そこで、町へ提案をしました。現在、後継者は居ないが会社を存続させたいという社長と、会社を創業してみたい人材とのマッチングを行う事業を町が主導で行う事を提案しました。町では事業継承セミナーや創業セミナーを開催しています。

その参加者同士をマッチングさせることにより、後継者にふさわしい人材と出会うことが出来て、企業を救うことが出来ると考えて町へ要望しました。↓



町への要望が実現しました！ ベビーシッター利用の補助制度が導入！

令和4年から、妊婦の方から生後1歳までの乳児のいるママ・パパが、少しでもリフレッシュできる時間を持てるように、ベビーシッターを利用した時の助成制度が、私と要望者からの願いにより、事業として実現しました。未来の宝物である子ども達を育てる環境はとても重要です。

産後うつの予防を始め、親がリフレッシュできる時間が心にゆとりを持たせ、気持ちよく子育てが出来ます。その心のゆとりは、生まれてきた赤ちゃんにも伝わり、ゆとりある子どもに育つと私は感じます。

これからも町民の皆様の安心・安全なまちづくりに向けて、皆様の声を町政に届けて行きます。今回の要望は、ほうれんそう第8号で掲載されています。



かやたかゆきの活動報告 3月～5月



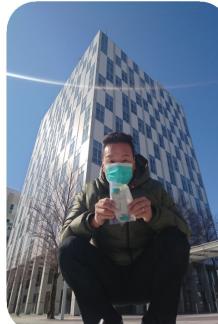
八菅橋 令和の広場推進協議会の活動で、絶滅危惧種である「ツメレンゲ」の保護活動で草刈りを行いました。



愛川町青少年指導員・神奈川県青少年指導員として委嘱状を頂きました。これからも青少年の指導を頑張って参ります。



愛川織維会館さんの新しいイベント「世界で一つだけの藍染め日傘作り」に参加させて頂きました。



半原ワサビまちづくりプロジェクトの活動で1年かけて、水の調査研究を神奈川工科大学で行いました。

令和4年度の予算に質問しました！

3月議会で行われた令和4年度の一般会計予算に対して、会派「令和あいかわ」を代表して会派代表質問という、令和4年度の予算に対して、どのようにお金が使われるのか？どのように使うと効果的なのか？踏まえて質問をしました。私の仕事は、町民の皆さんから預かった税金に「知恵を絞り」「汗をかき」、「幸せというエッセンス」を加えて町民の皆さんにお返しをすることだと考えます。

森林環境譲与税の有効活用へ！

「森林環境譲与税」は、森林を守り地球温暖化を防止するために、令和6(2024)年度から個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として1人年額1,000円を市町村が徴収することとなります。現在、愛川町では国からの予算で先行して林道の整備を使っています。もちろん林道の整備も大切ですが、環境整備と合わせて「森の輪プロジェクト」を提案しました。

これは、生まれてきた赤ちゃんが歯が生えてきた時に使うドーナツ状の「歯固め」です。愛川町で育った間伐材などを使い、町内で加工し、新生児にプレゼントをしてあげることで「木育」として、町で育った木に触れ合えながら赤ちゃんは育ちます。

森林環境譲与税は、森林の保全や人材育成、木材利用として使うことが出来る税金です。この森林環境譲与税を使い、「町として生まれてくる赤ちゃんの事を想っている」という優しい気持ちが必要であると考え、この事業を提案しました。



空き家を有効活用し人口増加へ！

令和4年度では、空き家解消のために「空き家の取得費補助金」に新たに「新婚加算」を加えるほか、解体費用の助成や総合相談窓口の設置、セミナーの開催、「特定空家」の認定作業と幅広く様々な角度から空き家対策に取り組んでいきます。そこで、今後は町外の方が愛川町の空き家を使って商売を始めやすい環境を作ることが、生産年齢人口の増加に繋がるので、空き家事業を更に拡大することを要望しました。



LGBTQの理解を深めよう！

令和4年度から性的少数者等への生きづらさを解消するための「パートナーシップ宣誓制度」の導入を町が行います。これは性的マイノリティに対して、気配り・心配りが出来ている事業です。この事業は素晴らしい制度ですが、制度を作っただけでは、根本的な問題は解決出来ません。町全体でLGBTQの性的マイノリティに対して理解してあげる環境づくりが非常に大切なことで、今後は皆さんのが暮らしやすい社会の実現のために更なる推進を要望しました。



テレビ神奈川「かながわ旬菜ナビ」に出演

5月8日に放送されたテレビ神奈川「かながわ旬菜ナビ」という30分番組に「半原ワサビまちづくりプロジェクト」として出演しました！詳細は次号に掲載いたします。**お楽しみに♪**



番組の詳細は下のQRコードからお進みください。



3月議会の一般質問をご覧頂けます！

3月議会で「愛川町を自殺者ゼロの町へ！」というテーマで行った一般質問を録画でご覧頂けます。冒頭の2分ほど、私が町に対する想いを述べていますので、そこだけでもご覧頂ければ幸いです。全体で1時間あります。QRコードからご覧ください。



編集後記

3月議会では、一般質問から始まり、会派を代表しての会派代表質問、そして初めての総務建設常任委員会、最後は予算に関する賛成討論を行いました。初めての事だらけで、とてもハードな3月議会でしたが、自分自身レベルアップを感じました。

そして6月12日は、これからの愛川町の未来を決める愛川町長選挙です。候補者の町に対する想いや政策をしっかりと見極めて、未来の愛川町や子ども達の為にも、大切な一票を投じましょう。

次号の新聞折込は9月2日金曜日を予定しています。

発行日：2022年 6月 3日

第10号

討議資料

編集・発行：かやたかゆき後援会

連絡先：愛川町中津3552

Tel 090-3695-9357 Fax 046-286-7872 Mail takayuki@8744.co.jp

愛のあるまちづくり